

平成 25 年度事前分析表（案）の測定指標類型について（概要）

1. アウトカム指標

(1) 数値指標

ア. 普及・啓発型施策

- (ア) 認知度 （例：バリアフリーの認知度、共生社会の認知度・世代全体）
- (イ) 関心度 （例：食育に関心を持っている国民の割合、自殺対策は自分自身に関わる問題であると思う人の割合など）
- (ウ) 理解度 （例：重要施策に関する広報理解度、社会全体が一体となって青少年の健やかな成長を支える必要があると思う人の割合など）
- (エ) 行動の変化（「行動したい」を含む）
（例：交通事故を起こさない・交通事故に遭わない行動をしている人の割合、社会参加したいと思う高齢者の割合など）

イ. 調査・研究型施策

- (ア) 認知・関心度（HP、報道状況など）
（例：月例経済報告のHPのアクセス件数、「景気ウォッチャー調査」マスメディアによる報道の状況）
- (イ) 調査・研究の活用（審議会、白書、引用論文数など）
（例：世論調査結果の各府省の審議会、白書などでの利活用度、沖縄科学技術大学院大学論文発表数など）

ウ. 行政サービス型施策

- (ア) 満足度
（例：「男女共同参画苦情処理研修」における肯定的な評価の割合、学術フォーラムの参加者アンケートで肯定的に評価した者の割合など）

エ. 数値目標のある「施策の総合的推進」

(ア) 目標年度が次年度以降の指標（例：対日直接投資残高、国から権限移譲された事務・事業の合計（累計）件数、自殺死亡率（人口 10 万人当たりの自殺者数）など）

オ. その他（例：地域再生計画の認定件数、公立学校の耐震化率など）

(2) 定性的指標

ア. 定性的なアウトカム指標（例：会議等における日本側の取組に対する中国側の評価、国際平和協力業務等に対する国連・現地政府等の評価など）

イ. 施策の総合的推進（1（1）エを除く）

（例：子ども・若者育成支援の総合的推進、犯罪被害者等施策の総合的推進など）

（注）「見える化」を測定指標として掲げている施策もある（例：「青年国際交流の推進施策」では、『成果の「見える化」』（青年国際交流事業の実施を通じて得られる様々な効果（外交的効果、人材育成効果等）について、定量的・定性的に取りまとめ、一覧性・客観性を持って対外的に示すこと及びそのための取組）を測定指標に設定している）。

2. アウトプット指標

(1) 数値指標

（例：春秋叙勲の発令数、学術フォーラムの開催回数など）